



審判副委員長



## 戦評用紙

種別 **バレーボール (聴覚)** 会場 **大野市エキサイト広場総合体育施設体育館**

平成 **30** 年 **10** 月 **13** 日 土曜日 第 **1** 日目

**A** コート 第 **3** 試合

1回戦(第3試合)  準決勝(第 試合)  3位決定戦  決勝戦  交流戦(第 試合)

◎試合結果

(該当する種別にレ印)

勝利チーム		<b>25</b>	—	<b>16</b>	}	<b>0</b>	<b>広島市</b>	都道府県、指定都市名
<b>長崎県</b>	<b>2</b>	<b>25</b>	—	<b>21</b>				
都道府県、指定都市名			—					

【審判員】

主 審： 林 幸則 副 審： 志茂 英泉

記録員： 幸澤 真由美 A・S： 広瀬 亜耶子 A・S： 土田 祐美子

【戦 評】

記載者： 杉川 嘉郎

..... 広島市と長崎県の一回戦。長岡、吉田選手を中心とした多彩で組織的な攻撃を見せる。

..... 長崎県と木村選手を中心とした攻撃と粘り強いレシーブを持ち味とする広島市の対戦。

..... 第1セット序盤、長崎県は植松選手のサーブと長岡選手のスパイクで得点を重ねリードを奪う。広島市も、木村選手を中心とした攻撃で反撃するが、長崎県も粘り強いレシーブから連続得点を許さず、リードを保ったままこのセットを取った。

..... 第2セット、序盤から両チームとも一歩も譲らない一進一退の攻防が繰り広げられた。

..... 中盤、広島市は久保選手のサーブからリードを奪う。長崎県も、組織的な守備で、広島市木村選手のスパイクを止めて勢いに乗ると、逆転に成功した。

..... 終盤、長崎県は確実なレシーブから長岡、吉田選手を中心とした攻撃で広島市に連続得点を許すことなく、リードを守り切りセットカウント2-0で準決勝進出を決めた。